



現場発  
ソフトバンク  
ナishima 宏樹

ソフトバンク柳川洋平投手(25)に注目している。13日に育成枠から支配下登録され、いきなり1軍に登録された。「夢みたい。ここからが勝負ですから」と気合を入れている。右肘、肩痛などの

## 「夢みたいで終わらないで」

「1軍のベンチにいられるなんて夢のようでした。」

◆奈島宏樹(なしま・ひろき) 1

975年(昭50)5月12日、神戸市生まれ。00年(平12)大阪本社入社。03年から7年以上、サッカー担当だったが、リフティングは2回しかできない。昨年12月からソフトバンク担当となる。

故障で社会人のJX-ENEOSを戦力外通告された。社業に専念することを拒否し西多摩倶楽部へ移籍。日当1万2000円の工事のアルバイトで生活費を稼いだ。独立リーグのBCリーグ福井での活躍が評価され、08年育成ドラフトでソフトバンク入団。夢が実現しようとした後に

込んで、野球が嫌になった」。カウンセラーに相談する中で少しずつ元氣を取り戻したという。個人でメンタルトレーナーと契約。ようやく野球ができるようになり、今季ウエスタン・リーグで21試合に登板し防御率1・86、5セーブ。活躍が認められ1軍昇格となった。

また困難が訪れた。

昨季、特に故障はなかったが、精神的な不調に陥った。ボールを見た

でも、ここからがスタートですよね」。

だけで気分が落ち込み、情熱を注いできた野球をやめたいと思った。寮の部屋にこもり、誰とも話したくなかった。

「本当に地獄でした。気分が落ち

野球選手は実にデリケートだが、困難を乗り越えた分だけ、気持ちの強さも身につくはず。長引く不況で前を向けない若者も多い。そんな暗い社会に光をともし投手となつてほしい。